

活用ナビ

①【ねらい】自由民権運動の広がりについて知る。

②● 題を読みましょう。
● 自由民権運動とは何でしょうか。
※教科書から確認する。

②● 誰がいるでしょうか。
※難しい場合には教師が簡単に説明する。
● 目立つところはどこでしょうか。
※「みんなが注目したところは？」と言い換えてもよい。

③● 弁士、警官、聴衆はそれぞれ何と言っているのでしょうか。
予想してみましょう。
※教科書の本文の内容に即して考えさせる。
※発表時には予想が異なっているものを取り上げ、検討させたい。

④● その後、自由民権運動はどのようになったのでしょうか。
※予想を話し合わせてから、調べ活動に取り組みさせたい。

⑤● この絵を描いた人が伝えたかったことは何でしょうか。
ノートに書きましょう。
※当時の人々が政治への参加を願っていたことをおさえる。

2-9 近代国家を目ざして 自由民権運動が広まる

P184~P185

名前

6年 組 番

①【ねらい】自由民権運動の広がりについて知る。

②【基本】教科書の絵を見よう。
・題を読もう。
・自由民権運動とはどのような運動だろうか。

国民の政治に参加する権利を求める運動

・誰がいるだろうか。

演説をする人、警察の人、話を聞く人

・目立つところはどこだろうか。

・ものが飛んでいる ・人々が怒っている ・警察はそれをやめさせようとしている

③【ポイント】弁士（演説している人）、警官、聴衆（聞いている人）はそれぞれ何と言っているのだろうか。予想しよう。

○弁士

○警官

○聴衆

自由民権運動はこれからの日本にとって大切だ。みんなも政治に参加しよう。

このような演説会はやめなければいけない。やめなさい。解散だ。

演説を続けろ。私たちも政治に参加する権利がある。

④その後、自由民権運動はどのようになったのだろうか。

・運動がますます盛んになる、国会開設の署名が政府に提出された。
・政府は1890年に国会を開くことを約束した。

⑤この絵を描いた人が伝えたかったことは何だろうか。ノートに書こう。

資料の読解

絵画資料「自由民権運動の演説会」は、自由民権運動推進の立場から演説会の様子を描いたものであり、明治時代の新聞に掲載された。

政府の立場の警官が、聴衆のみならず、弁士に演説を中止させる行動をとっている。特に、3名のうちの真ん中の警官が弁士に対して険しい表情で詰め寄っていることからそのことが理解できる。教科書の本文の表現を借りるのなら、「政府は、この動きをおさえようと、新聞や演説会の取りしまりを厳しくした」様子が描かれている。

それに対して、聴衆は土瓶や茶碗を投げて猛烈に抗議をしている。当時の人々の政治に参加しようとする思いや熱意、政府に対する批判がこの絵画に端的に表現されているのである。

読解の方法

- (1) 最初に基礎項目として、自由民権運動の定義を確認したり、絵に描かれている人物が誰なのかを話し合ったりする。特に人物については、自由民権運動推進の弁士だということを理解させないと絵にせりふを入れることが難しい。
- (2) そのうえで、絵で目立つところを発表させる。物が飛んでいるところや、民衆が怒っているところ、警官が止めさせようとしているということ等が出てくるであろう。
- (3) 基礎項目を理解させたうえで、絵に入るせりふを考えさせる。予想で構わないことを伝える。この時に、「警官はしっかりと話を聞いてもらおうと聞き手を注意している」というようなせりふが出てくることも考えられる。そのような例も取り上げ、「警官はどのような立場なのだろう」と検討させたい。
- (4) 最後に「この絵を描いた人が伝えたかったことは何か。」という発問を投げかけ、資料の見方を深めるようにする。